胸部大動脈外科における循環停止法の安全性向上に関する研究

旭川医科大学　外科学講座　心臓大血管外科学分野

教授　紙谷寛之（かみや ひろ ゆき）

紙谷寛之教授は、平成９年に北海道大学医学部を卒業後、金沢大学第一外科に入局し、心臓血管外科の修練を開始された。平成14年に心拍動下冠動脈バイパス術に関する研究で学位を取得後、平成15年からハノーバー医科大学に留学された。その後、平成18年にハイデルベルグ大学に助教として異動、平成21年には同大学で教授資格（Habilitation）を取得し、同年イエナ大学に准教授として赴任、さらに同年上司の異動に伴いデュッセルドルフ大学に准教授として赴任し、平成24年に旭川医科大学に異動され現在まで勤務されている。

心臓外科医として心移植23例など高難度手術も含め、今までに約3,000例の開心術執刀を行う傍ら、約1,000例の手術指導も行い後進の育成にも積極的に取り組まれている。また、研究者としても顕著な業績を有し、現在までに120編を超える英文論文を発表されている。

特に、胸部大動脈外科における循環停止法の安全性向上に関する研究については継続的に取り組まれており、ドイツ時代の低体温循環停止法の至適冷却温度に関する研究、急性大動脈解離の手術の際の上行大動脈送血法については多数の権威のある雑誌に掲載された。また、帰国後はレーザースペックル眼底血流計を用いた循環停止法の際の脳微小循環の評価、神経組織特異的エノラーゼによる循環停止法の際の脳障害の定量評価、不断な脳灌流を可能にする大動脈弓部置換術の新術式、弓部置換術における術者の経験が予後に及ぼす影響など、多数の英文論文を発表されている。

紙谷教授のもとには数多くの若者が集結しつつある。今後はグループとしての道内心臓外科医療の充実、そして研究における世界への発信が大いに期待されている。

お知らせ　第100回北海道医学大会総会について

◇学術部◇

第100回大会総会のご案内をいたします。今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、WEB開催いたします。

第100回北海道医学大会会頭　長瀬　　清

記

１．日程　令和２年10月３日（土）

２．プログラム

⑴令和２年度北海道医師会賞ならびに北海道知事賞贈呈式（15時～ 16時・北海道医師会館）

⑵特別講演（事前収録しHP公開予定）

「ポストコロナ時代における人工知能の可能性」

講師：松尾　　豊（東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 教授）

⑶基調講演（事前収録しHP公開予定）

「北海道の医療―北海道医学大会とともに」

講師：長瀬　　清（第100回北海道医学大会会頭／北海道医師会会長）

⑷講演の視聴方法

第100回北海道医学大会ホームページからご覧いただけます。下記URLをご参照ください。

３．分科会開催日程・プログラム抄録閲覧

第100回北海道医学大会ホームページからご覧いただけます。

下記URLから、ID（taikai）パスワード（3024）を入力してください。

http://www.hokkaido.med.or.jp/igaku/index.html